

- メモ欄 -

気付いたこととか書いてね

📖 雑学コーナー

今も昔も、登山者御用達の「ホリデー快速」

普段は各駅停車の青梅線ですが、週末の朝と夕方のみ、途中駅を通過する快速電車が走ります。その名も「ホリデー快速」。週末に奥多摩へ観光や登山に来られる方にはなじみ深い列車です。

現在の「ホリデー快速
おきたま号」にあたる列車は1960年頃から登場し、臨時列車扱いでした。

提供：青梅鉄道公園



1985年頃の「特別快速おきたま号」

「ホリデー快速」の名で呼ばれるようになったのは1990年からで、2001年からは通年で土曜休日運転するようになりました。

奥多摩ビジターセンターでは、登山者の多い時期にホリデー快速の到着時刻に合わせて奥多摩駅前山岳遭難防止キャンペーンを東京都レンジャー、青梅警察署、奥多摩消防署等と合同で実施しています。また、JR東日本や奥多摩町と連携して、駅前から登山道情報を発信しています。



駅前登山情報コーナー



駅前山岳遭難防止キャンペーンの様子

シリーズ

奥多摩の野鳥

■ノビタキ

Vol. 98



漢字名：野鶇
スズメ目/ヒタキ科

レア度 ★★☆☆

● 大きさ 全長13cm

● なき声 「チュ ピーチョ」「ヒーチュピチー」

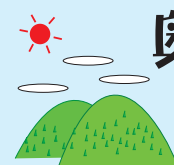
● 特徴 成鳥の雄(夏羽)は、頭部から上面にかけて黒く、胸は錆色。雌は頭部から上面にかけて黒褐色で、細かく縦斑がある。

👁️ メモ 繁殖期以外は1羽で生活する。枝先などを転々と移動し、昆虫類、クモ類などを採食する。

👁️ どこで観察できる？

国内 夏鳥。平地から山地帯にかけての草原など。秋の渡り時は、平地で普通。
奥多摩 春や秋の渡りの頃に河川敷などで観察されている。特に、秋の観察例が多く報告されている。

第100号(9月号) 毎月中旬発行



奥多摩を 歩こう!



★JR青梅線(奥多摩～川井駅) 各駅停車の旅



東京都 奥多摩ビジターセンター

URL : <http://www.okutama-vc.com/>
住所 : 東京都西多摩郡奥多摩町氷川171-1
電話 : 0428-83-2037

🌿 公益財団法人 東京都公園協会

お客様サポートセンター (協会の事業全般に関するお問い合わせ)
電話 : 03-3232-3038 ※8:30~17:30 (土日・祝日・年末年始を除く)

「J」青梅線とは？

JR青梅線は、立川駅から青梅駅を經由し、奥多摩駅までをつなぐ西多摩地域の重要な交通手段のひとつです。特に、御嶽駅をすぎるとトンネルの通過が増え、車窓からは多摩川に沿った溪谷と山々がおりなす美しい景色が広がります。週末になると、豊かな自然を求めて観光や登山を目的とした乗客で賑わいます。今回は、そんな青梅線のうち奥多摩町内の奥多摩～川井駅間について紹介します。



青梅線の成り立ちと沿革

青梅線のはじまりは、1894年に青梅～立川間に開通した青梅鉄道に遡ります。当初は、沿線で採掘される石灰石の輸送が目的でしたが、1898年より旅客輸送も導入されています。

その後、奥多摩での石灰石採掘や小河内ダム建設のため、奥多摩～川井駅の区間が奥多摩電気鉄道によって建設され、戦時中である1944年7月1日の開通とともに国有化されました。

石灰石の産出により生まれ、発展してきた青梅線ですが、他産地の安価な石灰石に需要が移ったことから輸送量が減少し、1998年8月をもって、青梅線による石灰石輸送は終わりを迎えます。



奥多摩から石灰石を運ぶ電気機関車 (ED16)

奥多摩駅

(旧氷川駅)

- ・関東の駅百選(国土交通省)認定駅。
- ・戦時中に建設されたとは思えない山小屋風の美しい駅舎。その外観は、1944年の開設当初からほとんど変わっていない。
- ・開設時の駅名は、「氷川」。1971年に「奥多摩」に改称された。



関東の駅百選認定駅の銘板



山小屋風の駅舎

鳩ノ巣駅

- ・川苔山へ登山する際の最寄り駅。
- ・近隣には、釜飯のお店や溪谷を間近に歩ける鳩ノ巣溪谷遊歩道がある。



鳩ノ巣溪谷遊歩道

川井駅

- ・川井キャンプ場や奥多摩フィッシングセンターへの最寄り駅。
- ・大きくカーブする駅からの眺めは絶景。

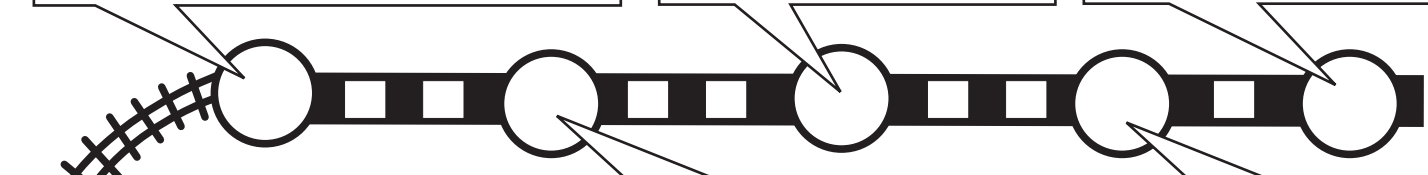


多摩川溪谷と奥多摩大橋の眺めが美しい

大きくカーブした駅では、列車とホームの間隔が広いため注意



至御嶽駅



1952年～1957年にかけて、ダム建設の資材を輸送するために奥多摩駅から小河内ダム方面へ向かう、幻の専用鉄道(東京都水道局小河内線)がありました。現在は使用されていませんが、奥多摩むかし道沿いには今も当時の橋梁が残っています。



現在も遊歩道から当時の橋梁を見ることができる

小河内ダム

白丸駅

- ・白くて丸い待合室がトレードマーク。
- ・青梅線で最も乗降客の少ない秘境駅。
- ・白丸ダム遊歩道への最寄り駅。



白丸駅の特徴的な待合室

古里駅

- ・かつては、石灰石輸送の貨物列車交換駅だった。
- ・駅から徒歩10分ほどの場所には、都指定天然記念物の巨樹「古里附のイヌグス」がある。



巨樹・古里附のイヌグス



提供:青梅鉄道公園

昭和時代の古里駅



現在の古里駅

参考文献:奥多摩町誌編纂委員会(1985年)『奥多摩町誌 歴史編』奥多摩町、山田亮(2016年)『JR中央線・青梅線・五日市線 各駅停車』洋泉社取材協力・写真提供:青梅鉄道公園(公益財団法人東日本鉄道文化財団)